

平成28年度施策評価調書

整理番号	28
評価担当課	教育部なよろ市立天文台
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	天体観測を活かしたまちづくり事業(5-1-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)
	主要施策	1	生涯学習社会の形成

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	名寄周辺の優れた星空条件を活かし、学校教育・社会教育の役割を確実に果たしながら、観測研究の向上、研究会の実施、「星と音楽」をテーマなどを通して、市内外から集客し、名寄の天文台ブランドを全国に情報発信していく。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	観望会などを通じて市内外からのお客様に楽しんだり知識を深めていただきながら、小中学校の授業のバックアップや市民の方々への講座を行う傍ら、北海道大学や国立天文台石垣島天文台との連携協力による観測などを行いその価値を保っている。また、星と音楽をテーマにしたライブの開催、星祭りを行い、天文台をアピールしている。
施策の課題	人的要因による確実な運営の確保、観測装置等の定期的な更新。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(28年度)
天文台の利用	天文台入館者数	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
		実績値	12,631	13,268	12,597	
		進捗率	105%	111%	105%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	平成22年度オープン以来、北海道大学、石垣島天文台、台湾の台北市天文科学教育館との協力、また杉並区との交流関係強化などをしていく中で、学校教育・社会教育施設として役割を果たしており、多くの方が訪れているため。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

学校教育・社会教育施設としての役割を果たしながら更に充実させ、その裏付けとなる研究観測を行い、多くの方々に来ていただくように企画等を行っていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	なよろ市立天文台の運営管理	天文台の運営・管理に要した経費	36,706	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	28	枝番	1
評価担当者・係・職名・氏名	なよろ市立天文台		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	なよろ市立天文台の運営管理			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	1	生涯学習社会の形成
		基本事業	4	天体観測を活かしたまちづくり事業
		実施計画事業	1	市立天文台の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄市の優れた自然条件を活かし宇宙への魅力を子供たちに伝えるなど、特色ある天文教室を進めます。また、北海道大学との相互協力協定に基づき学術交流を進め、交流人口の拡大に努めます。			
対象(何を又は誰を)	市内外の未就学児、児童、生徒、学生、一般			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	天文台を児童、生徒の理科授業に有効活用し、市が設置している望遠鏡設備と北海道大学が設置した口径1.6mの大型望遠鏡を連携して利用し、天文普及び教育・研究活動を進める。			
意図(どのような成果を期待しているか)	天文台が学校教育や社会教育に活用され、天文普及が進むとともに、国内外へ情報発信及びPRにより交流人口の拡大が図られる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> 請負 <input type="checkbox"/> その他()			
事業実施期間	始期	H24年度	終期設定	有(終期年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	1	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
					目標				
活動指標	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
成果指標	1	目標入館者数	人	目標	12000	12000	12000	12000	60,000
		実績入館者数		実績	12631	13268	12597		
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	33,867	32,256	36,706	37,239	運営事業費	12,572
国道支出金	0	0	0	0	維持管理事業費	23,240
地方債	600	600	600	600	移動式天文台車	894
その他	4,795	4,629	5,260	6,173		
一般財源	28,472	27,027	30,846	30,466		
人件費	0	0	0	0		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数						
総事業費	33,867	32,256	36,706	37,239		
対前年比(%)	—	95	114	101	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1					
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	杉並区との交流が進んだことにより、移動天文台車の派遣事業を行うようになりました。
改善点	指摘事項（季節による閉館時刻の設定、休館日、入館料等の改善）

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は名寄市と北海道大学との連携により全国で初めての運営体形で実施されるとともに、国立天文台石垣島天文台や台湾台北市天文科学教育館との協定に基づく活動もっており、多目的なニーズが高い。地域市民団体、大学等の協力も得ている。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	天文台は、全国初の大学との連携により事業運営している施設であり、国内外から研究者が訪れている施設である。国内公開天文台では、2番目に大きな望遠鏡(口径1.6mのピリカ望遠鏡)を有していること、廻りに光の根源が無く、また、空気が澄んでいることなど、全国でも有数の天文観測に優れた天文台であるため、天文観測・研究で成果が出つつあり、今後も予想されることからクローズアップされる施設になっている。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	開館以来目標人数を上回る来館者数はいるものの、いまだ来館したことがないという市民もおり、足元の市民の来館者を更に増やしていかなければならない。また、市外のお客様へのアピールも更にしていき、一定の収入は確保していく。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	天文台の運営に関しては、利用に際し応分の負担をいただいております。負担の決定においては全国の1m以上の望遠鏡を有する天文台や旭山動物園等を参考に設定してきたが、利用者からの声を鑑み、市内・市外の料金区別を廃止し、現在に至っている。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	開館当初より、年間の入館者数の目標を12,000人と見込んでおり、この6年間その目標を達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	平成22年度オープン以来、北海道大学、石垣島天文台、台湾の台北市天文科学教育館との協力、また杉並区との交流関係強化などをしていく中で、学校教育・社会教育施設として役割を果たしており、多くの方が訪れているため、継続いたします。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり